

これでよいのか、文化センターの行財政改革

村田 安男 議員



Q 毎年、5000万円以上の予算を投入している文化センターの運営だが、予算書からは改革の意欲が感じられない。例えば、少年少女合唱団の講師謝礼だが、前橋市を始めほとんどの市町村では、ボランティアによって指導を行っており、講師謝礼を支払っている所はほとんどない。

A 助役 文化センターの

運営については、指定管理者制度の導入を含め、抜本的な改革をする時期に来ていると思う。予算の執行においては、行財政改革の趣旨を踏まえ執行するように指示をしたい。

Q 死亡者より出生者の方が多いのにもかかわらず、玉村町の人口がいに前年を下回ってしまっただ。転出者の増加がその要因のひとつと考えられるが、今後の町財政に及ぼす影響は。

A 町長 インフラの整備を進めるとともに、若者にとって安心して子育てが出来る町づくりを目指したい。

Q 農業品目横断的対策では、認定農業者の確保と地域営農集団の立ち上げが急務となっているが、進捗状況は。

A 町長 J A、関係機関と協力して地域説明会を開催し、主旨の徹底を図っている。

Q 営農集団の立ち上げについては費用もかかって来ていて、補正予算で考慮していただきたい。

A 町長 地域農業の継続を前提に対応したい。



玉村町文化センター

なぜ今、改革が必要か

阿佐美 武 議員



Q 行財政改革の大きな目的は、総人件費の削減にある。業務の効率化、職員数の適正化、組織のスリム化を図り、健全財政を確立することである。厳しい財源の中で無駄をなくし、貴重な町民の税金をいかに有効的に活用していくかである。

A 今回の組織再編図を見ると、この目的が理解され、取り入れ

られているか分からないが。

A 町長 行財政改革の最大の目的は「最小の経費で最大の効果を上げる」ことであり、中でも大きなものは、総人件費の削減である。そのためには、組織を再編してスリムで効率的なものにしなければならぬ。職員数が減っても行政サービスを低下させたりはならない。

事務処理を速くするため、課長への裁権限の移

譲や、職員の能力を最大限活用するために、人材育成方針に基づく人事評価制度・目標管理制度を導入する予定となっている。

Q もっと抜本的な改革ができたか。

A 町長 組織のスリム化を行っても「行政サービスを低下させない」ということを基本姿勢としているので、今回は慎重を期したい。

Q 機構改革をすれば、余剰人員が発生する

はずだが。

A 町長 行政サービスの向上を図りながら、人件費の削減や、職員定数の適正化を図りたいと考えている。



行政サービスの向上と効率化を

無人ヘリ防除と国民健康保険の運営状況はどうか

齊藤 嘉和 議員



Q 無人ヘリ防除は今後どう運用していくか。

A 町長 平成17年度はアレルギー患者などへの配慮、人畜への影響・周辺環境に対するより一層の安全性の確保から、市街化区域内農地およびその周辺農地を散布の対象区域から除外し、使用する農薬について有機リン系から非有機リン系に変更して実施してきた。

Q 今般、来年度以降の実施にあたり、アンケートを行い集計中である。

A 町長 環境負荷の低減が叫ばれる中、箱施用防除に移行する傾向が高まってくと考えられる。18年度においても、更に防除区域の削減を図り、適期防除に心がけ人畜への影響、環境への負荷を考えるとともに農家への負担の増加をなるべく抑えられるように考えている。

Q 医療費の急増が社会問題となっている。

A 町長 国民健康保険特別会計においては、医療費は高齢化の進展や医療技術の進歩に伴って年々増加している。長引く不況と高齢化、税収の落ち込みで厳しい状況である。現在、2億円の財政調整基金を保有しており、2〜3年は健全運営していけると思う。

Q 一人当たりの医療費は16万円を推移しており、依然として高い状況にある。

A 町長 今後、増加する医療費をいかに抑えるかが課題である。さらに、保健師による重複多受診者への訪問指導の強化などを推進し、レセプト点検を充実させて医療費の適正化を図りたい。



道路行政および行財政改革を問う

島田 榮一 議員



Q 広域幹線道路は遅々として進まず、芝根地区の道路行政は立ち遅れている。国道354号は渋滞の状態である。広域幹線道路の建設促進と東部工業団地から新町、藤岡方面への交通量が増加している。

A 町長 土地改良事業等により基盤整備が実施され、各地区の生活道路等は約4メートル確保されており、芝根地区の道路行政が特別立ち遅れているとは思えない。ただ広域幹線道路をはじめ、幹線道路の建設が遅れているのは事実である。関係機関に働きかけ、建設促進に努めたい。

Q 経営改革大綱を成功させるには、機構改革と併せ執行側の相当の意識改革が必要と思うが、どう考えるか。

A 町長 町の改革を成功させるには、私の確固たる意思と方針を示すことはもちろん、職員一人ひとりの意識改革と、変える勇気を持つ職員の育成が重要であり急務である。これまでの人事慣行を見直し、実力主義、能力主義のもとで適材適所の人事配置により改革を成功させたいと思っている。



広域幹線道路と藤岡大胡線の交差点